

令和 2 年度燕市歯科保健計画の進捗状況

健康づくり課

燕市歯科保健計画 指標項目一覧

計画期間：平成28年度～令和4(平成34)年度

進捗基準：◎目標値を達成、○概ね達成（80%以上）、△未達成だが基準値より改善、

▼基準値未満

指標項目	計画策定時 基準値	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R元年度 実績値	R2年度 実績値	R4年度 目標値	評価
育ちざかり（妊婦・0～5歳）							
妊婦歯科健診受診率	13.4%	36.7%	35.9%	44.5%	38.3%	30%	◎
3歳児一人平均むし歯数	0.46本	0.35本	0.26本	0.32本	0.21本	0.4本以下	◎
3歳児むし歯有病者率	13.5%	11.8%	8.3%	7.8%	6.2%	10%以下	◎
むし歯を3本以上持つ3歳児の割合	4.6%	5.1%	2.8%	3.8%	2.3%	減少	◎
5歳児一人平均むし歯数	1.56本	1.37本	1.15本	0.9本	0.89本	1.5本以下	◎
よく噛んで食べている児の割合 (1歳6か月児)	45.6%	49.3%	53.1%	49.8%	47.6%	60%	△
大人が仕上げ磨きをする割合（3歳児）	88.6%	86.8%	91.1%	90.8%	90.1%	100%	△
育ちざかり（6～18歳）							
12歳児一人平均むし歯数	0.28本	0.23本	0.18本	0.23本	0.14本	減少	◎
小学校児の歯肉炎有病者率	7.1%	9.6%	9.4%	9.6%	4.6%	7%以下	◎
中学校児の歯肉炎有病者率	23.9%	15.2%	15.3%	13.0%	10.7%	20%以下	◎
働きざかり（19～64歳）							
自分の歯を有する人 (55～64歳)で24本以上の割合	62.4%	61.2%	67.3%	67.5%	調査 未実施	70%以上	-
現在、歯や口の状態に満足している人 (35～44歳)の割合	46.9%	50.4%	53.4%	52.6%		60%以上	-
定期的に歯科健診を受診している人 (35～44歳)の割合	37.5%	44.7%	47.2%	49.6%		40%以上	-
歯間部清掃用具を毎日使用している人 (35～44歳)の割合	19.3%	22.2%	20.6%	24.3%		30%以上	-
燕市特定健診等受診者のうち、成人歯 科健診や唾液潜血反応検査を受診した 人(40～75歳)の割合	19.2%	21.4%	20.1%	23.4%		20%以上	-
活躍ざかり（65歳以上）							
定期的に歯科健診を受診している人 (65～74歳)の割合	52.9%	53.6%	54.1%	56.1%	調査 未実施	60%	-
お口の体操などの飲み込みにくさを改 善する方法を知っている人 (65～74歳)の割合	未調査	22.2%	24.4%	28.4%		30%	-
介護を要する人 障がい者（児）							
かかりつけ歯科医を持つ人の割合 (3年ごとに調査を実施。次回はR4年度)	未調査	58.1% (H28年度)	-	64.3%	-	増加	-
訪問歯科健診事業を知っている人の割 合(3年ごとに調査を実施。次回はR4年 度)	未調査	39.1% (H28年度)	-	41.9%	-	増加	-
燕・弥彦在宅歯科医療連携室における 訪問歯科健診および歯科衛生士訪問数 (アセスメント件数)	35件	44件	14件	2件	1件	80件	▼
燕・弥彦在宅歯科医療連携室における 専門職に対する口腔ケア実施研修利用 件数	6件	7件	5件	3件	1件	10件以上	▼

燕市歯科保健計画 世代別行動目標および指標・目標値

育ちざかり (妊婦・乳幼児0～5歳)	よく噛んで楽しく食べる習慣と歯磨き習慣に親子で取り組む																
行動目標	○保護者が毎日仕上げ磨きをする ○おやつの内容や回数を気をつけて食べさせる ○よく噛んで食べる習慣をつける ○定期的に歯科健診・フッ化物歯面塗布を受ける																
数値目標の達成状況	◎目標値を達成、○概ね達成(80%以上)、△未達成だが基準値より改善、▼基準値未満 ※基準値は計画策定時【平成26年度】 目標値は【令和4(平成34)年度】																
①妊婦歯科健診受診率	②3歳児一人平均むし歯数																
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>R2年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13.4%</td> <td>38.3%</td> <td>30%</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	R2年度	目標値	達成度	13.4%	38.3%	30%	◎	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>R2年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.46本</td> <td>0.21本</td> <td>0.4本</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	R2年度	目標値	達成度	0.46本	0.21本	0.4本	◎
基準値	R2年度	目標値	達成度														
13.4%	38.3%	30%	◎														
基準値	R2年度	目標値	達成度														
0.46本	0.21本	0.4本	◎														
③3歳児むし歯有病率	④むし歯を3本以上持つ3歳児																
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>R2年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13.5%</td> <td>6.2%</td> <td>10%以下</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	R2年度	目標値	達成度	13.5%	6.2%	10%以下	◎	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>R2年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4.6%</td> <td>2.3%</td> <td>減少</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	R2年度	目標値	達成度	4.6%	2.3%	減少	◎
基準値	R2年度	目標値	達成度														
13.5%	6.2%	10%以下	◎														
基準値	R2年度	目標値	達成度														
4.6%	2.3%	減少	◎														
⑤5歳児一人平均むし歯数	⑥よく噛んで食べている児の割合(1歳6か月児)																
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>R2年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.56本</td> <td>0.89本</td> <td>1.5本以下</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	R2年度	目標値	達成度	1.56本	0.89本	1.5本以下	◎	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>R2年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>45.6%</td> <td>47.6%</td> <td>60%</td> <td>△</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	R2年度	目標値	達成度	45.6%	47.6%	60%	△
基準値	R2年度	目標値	達成度														
1.56本	0.89本	1.5本以下	◎														
基準値	R2年度	目標値	達成度														
45.6%	47.6%	60%	△														
⑦大人が仕上げ磨きをする割合(3歳児)	<課題と今後の方向性>																
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>R2年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>88.6%</td> <td>90.1%</td> <td>100%</td> <td>△</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	R2年度	目標値	達成度	88.6%	90.1%	100%	△	定期的な歯科健診・フッ化物歯面塗布により、むし歯有病率は減少傾向にあります。反面、むし歯のある児は複数本を有しており、生活や家庭環境を踏まえた指導が必要です。関係機関と連携しながら、歯科保健に関する意識づけや行動の更なる定着に向け、個に合わせた指導を強化していきます。								
基準値	R2年度	目標値	達成度														
88.6%	90.1%	100%	△														

令和2年度 燕市歯科保健計画 重点的取り組み(事業)の実施状況・評価票
【育ちざかり(妊婦・乳幼児0～5歳)】

重点的取り組み		妊婦歯科健診の継続実施と拡充	
該当する事業		①妊婦歯科健診 ②妊婦学級(歯の健康)	
担当課	健康づくり課	関係機関	燕歯科医師会・在宅歯科衛生士会
実施状況	内容	①妊婦を対象に、協力歯科医療機関で個別歯科健診の実施(問診、口腔内検査、歯科保健指導) ②令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため少人数・短時間での実施となり、歯科衛生士による衛生教育は未実施	
	取組み	①母子健康手帳交付の際に歯科健診受診票を交付し、助産師訪問等機会を捉え、受診勧奨している ②妊娠期の歯の健康についてのリーフレットを配布し意識づけを行ない、妊婦学級参加時に妊婦歯科健診未受診の場合には受診勧奨している	
	成果と課題	①H28年度からの個別健診を機に、受診率は年々増加傾向である。妊娠を機に歯科受診する例も多い。妊婦医療費助成があることで一層、歯周疾患予防や早期治療できる体制が整っている。 ②妊婦歯科健診の受診とともに自分の歯、子どもの歯を考えるきっかけとなるため、適切な時期に受診や治療につながるよう、教室の場でも妊婦歯科健診の受診を促していく。	
今後の取り組みと方向性	継続	今後も受診率向上のため、受診票交付時、助産師訪問、妊婦学級などで受診勧奨を継続。	

重点的取り組み		歯科健診の受診しやすい体制づくり	
該当する事業		幼児歯科健診	
担当課	健康づくり課	関係機関	燕歯科医師会・在宅歯科衛生士会
実施状況	内容	令和2年度は1歳・2歳・2歳6か月児歯科健診は個別健診(医療機関委託)、1歳6か月児・3歳児は集団健診で実施(歯科健診・フッ化物歯面塗布・歯科保健指導)	
	取組み	集団健診ではフッ化物歯面塗布の際に歯科衛生士による個別指導を実施し、むし歯がある場合は受診勧奨を行なっている。個別健診では結果に応じて歯科医院での経過観察・治療につながっている。	
	成果と課題	1歳6か月児・3歳児の健診受診率は99%を超えている。3歳児健診のむし歯有病者率は年々減少しており、定期的な歯科健診・フッ化物歯面塗布の効果があらわれている。1歳・2歳・2歳6か月児歯科健診については、R2年度医療機関での個別健診となり、かかりつけ歯科医を持つきっかけとなった反面、受診率が低下したため、未受診者に対してはハガキでの受診勧奨を実施した。今後も広報や子育てアプリ等も活用しながら受診を促していく。	
今後の取り組みと方向性	継続	むし歯を複数本もつ児の共通点や背景など把握し、個別指導強化に生かしていく。受診率向上に向けた取り組みの継続	

令和2年度 燕市歯科保健計画 重点的取り組み(事業)の実施状況・評価票
【育ちざかり(妊婦・乳幼児0～5歳)】

重点的取り組み		園での歯科健診の継続実施、事後指導の強化	
該当する事業		園での歯科健診	
担当課	子育て支援課	関係機関	燕歯科医師会・幼稚園・保育園・こども園
実施状況	内容	年1～2回、各園で集団歯科健診の実施 歯科健診結果報告通知の発行、受診勧奨および受診結果の把握	
	取組み	令和2年度は1回実施。歯科健診結果報告通知で受診・治療の状況を把握している。治療が必要な児が早めに受診につながるよう、園だよりや個別の声掛けで勧奨している。	
	成果と課題	歯科健診結果報告通知を更新して以降、受診結果の把握が確実となり、返却率も100%に近い。完治の報告も増えている。	
今後の取り組みと方向性		継続 未受診者ゼロを目指し、取り組みの継続	

重点的取り組み		むし歯予防教室の継続実施	
該当する事業		①むし歯予防教室 ②歯みがき講座	
担当課	①健康づくり課	関係機関	在宅歯科衛生士会・幼稚園・保育園・こども園
	②子育て支援課		在宅歯科衛生士会・子育て支援センター
実施状況	内容	①歯科衛生士による健康教育年間市内10か所の園で実施 ②新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施せず	
	取組み	①今年度は感染予防を考慮し、講話のみで実施。歯みがきの仕方・噛むことの大切さ・むし歯になりやすい食べ物等について、模型や紙芝居等の媒体を使いわかりやすく説明をしている。	
	成果と課題	①歯科衛生士の指導内容を給食後の歯みがき時に実践している姿もみられ、関心が高まっている。 ②保護者理解を深めるために講座は有効であるため、R3年度はブラッシング指導のみ中止する等の感染予防の対策を講じ、実施に向けて工夫していく。	
今後の取り組みと方向性		継続 親子で参加できる教室・講座で、幼児期から家庭でのセルフケアの定着を目指し、保護者へアプローチしていく。	

令和2年度 燕市歯科保健計画 重点的取り組み(事業)の実施状況・評価票
【育ちざかり(妊婦・乳幼児0～5歳)】

重点的取り組み		フッ化物洗口事業の継続実施	
該当する事業		フッ化物洗口	
担当課	健康づくり課	関係機関	幼稚園・保育園・こども園
実施状況	内容	週2回、幼稚園・保育園・こども園でフッ化物洗口の実施	
	取組み	年中組4歳児よりフッ化物洗口を実施している	
	成果と課題	市内全園で実施し、実施率も97%以上と高い。幼児期からフッ化物を利用したむし歯予防が継続できる環境が整備されている。	
今後の取り組みと方向性		継続 園(年中)から中学校卒業まで継続実施	

重点的取り組み		よく噛む習慣が定着するような指導の強化	
該当する事業		①離乳食相談会 ②噛み応えのある給食メニュー	
担当課	①健康づくり課	関係機関	①食生活改善推進委員
	②子育て支援課		②幼稚園・保育園・こども園
実施状況	内容	①新型コロナウイルス感染拡大防止のため、集団での離乳食相談会は実施せず。予約制育児相談会やオンライン育児相談、オンライン離乳食グループ相談会を実施。市ホームページにて離乳食動画も掲載している。	
		②給食等で「よく噛む」ことの指導	
	取組み	①予約制育児相談会やオンライン育児相談、8か月から12か月児を対象に実施しているオンライン離乳食グループ相談会で噛むことの大切さを伝え、よく噛むメニューの提案を行なっている。 ②よく噛まずに飲み込む児には、ゆっくりとよく噛んで食べるように伝えている。	
成果と課題	①1歳6か月児健診での「よく噛んで食べている児」の割合は50%前後で横ばいである。噛むことの大切さを子ども自身理解できる時期ではないが、家族と一緒に食卓を囲むこと、いろんな食材を食べさせることが後にしっかりと噛むことに繋がるため、健診・相談会等の機会をとらえ、継続して伝えていく。		
	②よく噛むことが定着するためには、継続して伝えていくことが必要。保護者にも園だよりなどを通して噛むことの大切さ(顎の発達、味覚・脳の発達を促す、丈夫な歯をつくる等)について知らせていく。		
今後の取り組みと方向性		継続 食事とむし歯予防を関連づけた取り組みの継続	

令和2年度 燕市歯科保健計画 重点的取り組み(事業)の実施状況・評価票
【育ちざかり(妊婦・乳幼児0～5歳)】

重点的取り組み		歯の衛生が保たれない場合、 ネグレクト等も考慮した関わり、関係機関との連携	
該当する事業			
担当課	子育て支援課	関係機関	幼稚園・保育園・こども園
実施状況	内容	必要時、関係機関と連携し、対応する	
	取組み	受診勧奨しても未受診等気になる家庭は必要時、社会福祉課へ相談し、対応策を検討している。	
	成果と課題	過去に対象を取り巻く環境を考慮した個別の関わりで受診勧奨をしたところ、歯科治療が開始された事例あり。	
今後の取り組みと方向性		継続	

燕市歯科保健計画 世代別行動目標および指標・目標値

育ちざかり (児童・生徒6～18歳)	歯や口腔を守る食習慣や生活習慣を知り、自ら実践する																
行動目標 <ul style="list-style-type: none"> ○親子で歯磨きの習慣をつける ○自分の歯や口腔に関心を持ち、歯を丈夫にする方法を学び、実践する ○歯肉炎やむし歯になったら早めに受診する ○歯やからだの健康を考えた食事やおやつ摂り方の工夫をする 																	
数値目標の達成状況 ◎目標値を達成、○概ね達成(80%以上)、△未達成だが基準値より改善、▼基準値未満 ※基準値は計画策定時【平成26年度】 目標値は【令和4(平成34)年度】																	
①12歳児一人平均むし歯数 <div style="text-align: center;"> </div> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>R2年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.28本</td> <td>0.14本</td> <td>減少</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	R2年度	目標値	達成度	0.28本	0.14本	減少	◎	②小学校児の歯肉炎有病者率 <div style="text-align: center;"> </div> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>R2年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7.1%</td> <td>4.6%</td> <td>7%以下</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	R2年度	目標値	達成度	7.1%	4.6%	7%以下	◎
基準値	R2年度	目標値	達成度														
0.28本	0.14本	減少	◎														
基準値	R2年度	目標値	達成度														
7.1%	4.6%	7%以下	◎														
③中学校児の歯肉炎有病者率 <div style="text-align: center;"> </div> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>R2年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23.9%</td> <td>10.7%</td> <td>20%以下</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	R2年度	目標値	達成度	23.9%	10.7%	20%以下	◎	<課題と今後の方向性> 中学校の歯肉炎有病者率は減少傾向にあります。小学校での有病者率は横ばいでしたが、R2年度値では改善がみられています。幼児期からの望ましい生活習慣(仕上げ磨きや食事・おやつの与え方)の定着に加え、児童・生徒がセルフケアの方法を取得し継続して取り組んでいけるような働きかけを一層強化していきます。								
基準値	R2年度	目標値	達成度														
23.9%	10.7%	20%以下	◎														

令和2年度 燕市歯科保健計画 重点的取り組み(事業)の実施状況・評価票

【育ちざかり(児童・生徒6～18歳)】

重点的取り組み		既存事業を活用した高校生向け歯周病予防の啓発	
該当する事業		赤ちゃん交流会	
担当課	健康づくり課	関係機関	県立吉田高校・児童館
実施状況	内容	新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施せず	
	取組み		
	成果と課題	赤ちゃん交流会に限らず、小・中・高等学校との事業実施の機会を捉えて「歯」の健康教育を取り入れていく。(食生活改善推進委員が学校からの依頼を受け出向く機会も増えているため、食と関連付けた取り組みを行なう等)	
今後の取り組みと方向性		継続	既存の事業を利用し実施

重点的取り組み		むし歯歯周病予防教室の継続実施	
該当する事業		むし歯・歯周病予防教室	
担当課	学校教育課	関係機関	在宅歯科衛生士会・小学校・中学校
実施状況	内容	各学校で毎年1回、歯科衛生士による歯みがき指導の実施	
	取組み	対象(学校や学年)に合わせた指導内容について、養護教諭と歯科衛生士とで事前に打ち合わせをし、効果的な指導を行っている	
	成果と課題	【学校教育課】歯みがき状況を教室前後で比較すると、指導の効果を実感できる。学齢期には学校でも自ら歯みがきをするが、とくに低学年は上手に歯みがきすることが難しい場合も多く、みがき方指導が重要である。幼児期からの歯みがき指導や啓発を継続するためにも今後も重要である。 【小・中学校】小学校・中学校の対象学年において、歯科衛生士から適切な指導を受けることはとても重要な機会ととらえている。例えば、低学年の6歳臼歯の磨き方の指導は、永久歯萌出時に大切な指導である。さらに、保護者に対し、家庭における仕上げ磨きの必要性を伝えるよい場面になっている。以上のように、今後も歯科衛生士の協力を得ながら、家庭との連携を深め、指導を継続していく。	
今後の取り組みと方向性		継続	むし歯・歯肉炎予防のため、児童・生徒の口腔ケアの定着および、家庭への啓発普及の継続

令和2年度 燕市歯科保健計画 重点的取り組み(事業)の実施状況・評価票

【育ちざかり(児童・生徒6～18歳)】

重点的取り組み		フッ化物洗口事業の継続実施	
該当する事業		フッ化物洗口	
担当課	健康づくり課	関係機関	小学校・中学校
実施状況	内容	週1回、学校でフッ化物洗口を実施	
	取組み	市内全小中学校で実施しており、フッ化物洗口の希望の有無は入学時に把握し、その意向を卒業まで継続する扱いとしている。	
	成果と課題	小中学校だけでなく、市内各園も含めての施設実施率は100%である。フッ化物洗口希望率も98%以上と高い。12歳児一人平均むし歯数は減少傾向にあり、歯質の強化にもつながっていると考えられる。フッ化物を利用したむし歯予防を継続して受けることのできる環境が整っている。	
今後の取り組みと方向性		継続 園(年中)から中学卒業まで継続実施	

燕市歯科保健計画 世代別行動目標および指標・目標値

働きざかり (19～64歳)	歯や口腔を自分で守る食習慣や生活習慣の継続と、 かかりつけ医でのセルフケアチェックを定着する																
行動目標	○歯の健康が全身の健康に影響することを理解する ○定期的に歯科受診をし、専門的な口腔ケアを受ける ○セルフケアの大切さを理解し、自身の健康維持や8020達成のために行動する																
数値目標の達成状況	◎目標値を達成、○概ね達成(80%以上)、△未達成だが基準値より改善、▼基準値未満 ※基準値は計画策定時【平成26年度】 目標値は【令和4(平成34)年度】																
①自分の歯を有する人(55～64歳)で24本以上の割合	②現在、歯や口の状態に満足している人(35～44歳)の割合																
<table border="1" style="margin: auto;"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>R元年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>62.4%</td> <td>67.5%</td> <td>70%以上</td> <td>△</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	R元年度	目標値	達成度	62.4%	67.5%	70%以上	△	<table border="1" style="margin: auto;"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>R元年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>46.9%</td> <td>52.6%</td> <td>60%以上</td> <td>△</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	R元年度	目標値	達成度	46.9%	52.6%	60%以上	△
基準値	R元年度	目標値	達成度														
62.4%	67.5%	70%以上	△														
基準値	R元年度	目標値	達成度														
46.9%	52.6%	60%以上	△														
③定期的に歯科健診を受診している人(35～44歳)の割合	④歯間部清掃用具を毎日使用している人(35～44歳)の割合																
<table border="1" style="margin: auto;"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>R元年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>37.5%</td> <td>49.6%</td> <td>40%以上</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	R元年度	目標値	達成度	37.5%	49.6%	40%以上	◎	<table border="1" style="margin: auto;"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>R元年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>19.3%</td> <td>24.3%</td> <td>30%以上</td> <td>△</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	R元年度	目標値	達成度	19.3%	24.3%	30%以上	△
基準値	R元年度	目標値	達成度														
37.5%	49.6%	40%以上	◎														
基準値	R元年度	目標値	達成度														
19.3%	24.3%	30%以上	△														
⑤燕市特定健診等受診者のうち 成人歯科健診や唾液潜血反応検査を受診した人 (40～74歳)の割合	<課題と今後の方向性>																
<table border="1" style="margin: auto;"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>R元年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>19.2%</td> <td>23.4%</td> <td>20%以上</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	R元年度	目標値	達成度	19.2%	23.4%	20%以上	◎									
基準値	R元年度	目標値	達成度														
19.2%	23.4%	20%以上	◎														

令和2年度 燕市歯科保健計画 重点的取り組み(事業)の実施状況・評価票

【働きざかり(19～64歳)】

重点的取り組み		成人歯科健診の強化(重点的に節目検診取組む)	
該当する事業		①歯周疾患検診	
		②唾液潜血反応検査	
		③3歳児健診受診児保護者の歯科健診	
担当課	健康づくり課	関係機関	燕歯科医師会・在宅歯科衛生士会
実施状況	内容	①40歳・50歳・60歳・70歳を対象に、協力歯科医療機関で個別歯科健診の実施(問診、口腔内検査、歯科保健指導)	
		②R2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施せず。	
		③R2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施せず。	
実施状況	取組み	①対象者に受診票を個別通知している。協力歯科医療機関へのポスター掲示で事業の周知をするとともに、R2年度はより多くの方が受診に繋がるよう、受診勧奨チラシを案内に同封した。	
		①「定期歯科健診を受ける割合」は年々増加している。歯周疾患検診受診率は受診勧奨チラシを同封したことでR元年度より増加した。まだまだ低い状況であり、今後も歯周疾患検診受診率向上にむけた取り組みを継続していく必要がある。	
		②歯周疾患検診の年代以外にも広くアプローチできる方法を検討していく。	
実施状況	成果と課題	③幼児健診時に子どもだけでなく、保護者に対しても歯周疾患予防に関する啓発を行い、意識づけを行なっていく。	
		②歯周疾患検診の年代以外にも広くアプローチできる方法を検討していく。	
		③幼児健診時に子どもだけでなく、保護者に対しても歯周疾患予防に関する啓発を行い、意識づけを行なっていく。	
今後の取り組みと方向性		継続	歯周疾患検診の受診率向上にむけた取り組みの継続と、今後は歯周疾患予防と生活習慣病予防を関連づけた取り組み(糖代謝異常の方へのアプローチ等)を行なう。

令和2年度 燕市歯科保健計画 重点的取り組み(事業)の実施状況・評価票

【働きざかり(19～64歳)】

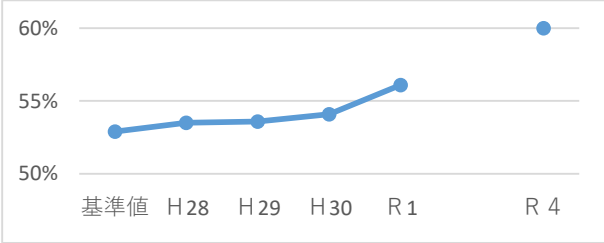
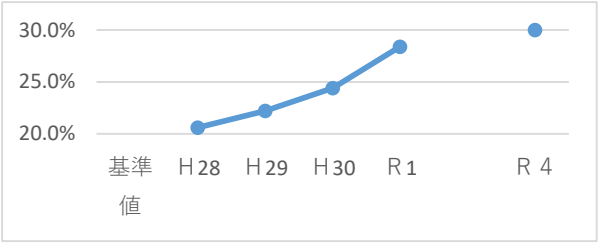
重点的取り組み		歯の健康についての啓発普及の拡充	
該当する事業		①歯の健康川柳	
		②各種教室等	
担当課	健康づくり課	関係機関	①燕歯科医師会
			①保健推進委員・食生活改善推進委員
実施状況	内容	①「歯の健康川柳」を募集し、市長や歯科医師会長が選考した句を広報・ホームページに掲載し表彰している	
		②歯に関する内容も盛り込んだ健康づくり教室等の企画実施	
	取組み	①周知は広報・市ホームページで行い、郵送・FAX・かんたん申請で応募	
②R2年度は実施なし。			
成果と課題	①R2年度も幅広い年齢層から66句の応募があり、歯やお口の健康を考えるきっかけになっている。入選作品とその句を詠んだ思いを広報・ホームページに掲載することで、歯の健康づくりの啓発につながっている。		
	②地区での活動や既存の事業の機会を捉え、歯科保健の内容を絡めながら啓発を行っていく。		
今後の取り組みと方向性		継続	

令和2年度 燕市歯科保健計画 重点的取り組み(事業)の実施状況・評価票

【働きざかり(19～64歳)】

重点的取り組み		歯の健康に関心を持つ企業を増やす啓発	
該当する事業		①職域健診	
		②つばめ元気かがやきポイント事業	
		③職場での歯科健診(パナソニック健保での取り組み)	
担当課	健康づくり課	関係機関	燕 吉田 分水商工会・企業・三条保健所
実施状況	内容	①職域健診にて、歯の健康づくりの啓発普及	
		②健康づくりスタート企業・団体の募集及び社員の健康づくりの応援	
		③30～65歳までの5歳刻み年齢を対象に歯科健診、保健指導の実施	
実施状況	取組み	①R2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、職域健診でのリーフレットの配布は行っていない。	
		②市と協働し健康づくりを推進する企業・団体を募集している。	
		③歯科健診のほか、歯科保健に関するポピュレーションアプローチとして、6月と11月に社員食堂の卓上POPに歯みがきや歯周病予防に関する掲示を実施。	
実施状況	成果と課題	①市の特定健診で要指導となった方に対し、歯周疾患予防も含めたアプローチを行なっている。職域健診の場でも定期受診や口腔ケア定着に向け生活習慣病予防と合わせてPRしていく必要がある。	
		②スタート企業や団体は年々増えている。職場や団体全体で健康づくりの一環として、元気かがやきポイント事業に取り組むことで、歯に関する健康行動の定着も期待できる。	
		③R2年度より、該当年齢以外(自己負担あり)の健診を募集し、10名の希望があった。歯科健診希望調査で「受診しない」の理由として、勤務の都合よりも定期受診しているという回答が増えてきている。	
今後の取り組みと方向性		継続	歯科健診に関する制度の啓発により定期歯科健診の受診者増を図っていく(パナソニック健保では、個別歯科健診受診に対する助成金制度や、社内歯科健診は該当年齢以外でも受診(自己負担あり)が可能である)。

燕市歯科保健計画 世代別行動目標および指標・目標値

活躍ざかり (65歳以上)	定期歯科健診と嚙下体操で食べる楽しみがいつまでも持てる																
行動目標	<ul style="list-style-type: none"> ○歯の健康が全身の健康に影響することを理解する ○定期的に歯科受診をし、専門的な口腔ケアを受ける ○セルフケアの大切さを理解し、自身の健康維持や8020達成にむけて行動する ○嚙下体操を実施し、飲み込みなど改善することを実感する 																
数値目標の達成状況	◎目標値を達成、○概ね達成(80%以上)、△未達成だが基準値より改善、▼基準値未満 ※基準値は計画策定時【平成26年度】 目標値は【令和4(平成34)年度】																
①定期的に歯科健診を受診している人(65～74歳)の割合	②お口の体操などの見込みにくさを改善する方法があることを知っている人(65～74歳)の割合																
 <table border="1" style="margin-top: 10px; width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>R元年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>52.9%</td> <td>56.1%</td> <td>60.0%</td> <td>△</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	R元年度	目標値	達成度	52.9%	56.1%	60.0%	△	 <table border="1" style="margin-top: 10px; width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>R元年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>未調査</td> <td>28.4%</td> <td>30%</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	R元年度	目標値	達成度	未調査	28.4%	30%	○
基準値	R元年度	目標値	達成度														
52.9%	56.1%	60.0%	△														
基準値	R元年度	目標値	達成度														
未調査	28.4%	30%	○														
<課題と今後の方向性>																	
改善傾向にあります。今年度は保健事業と介護予防の一体化事業の取組みとして、地域のサロンでも歯科衛生士によるオーラルフレイル予防の健康教育を実施しており、セルフケアやお口の体操について意識づけする機会を設けています。今後も関係機関と連携を図りながら、お口の健康を切り口に健康づくりの取り組みを推進していきます。 ※R2年度は調査未実施のため、数値はR元年度の数値となっています。																	

令和2年度 燕市歯科保健計画 重点的取り組み(事業)の実施状況・評価票

【活躍ざかり(65歳以上)】

重点的取り組み		口腔ケアの重要性を情報提供	
該当する事業		地域のサロン活動	
担当課	長寿福祉課	関係機関	社会福祉協議会・在宅歯科医療連携室
実施状況	内容	サロン等高齢者の集まる機会を捉え、歯科衛生士による「歯の健康出前講座(口腔ケアの重要性について情報提供)」の実施	
	取組み	サロン代表者に「歯の健康出前講座」を周知し、希望する場合は直接在宅歯科医療連携室へ申込み。	
	成果と課題	令和2年度の申し込みは2件(内、1件はコロナの影響でキャンセル)であった。新型コロナウイルス感染症の影響により活動を中止するサロンも多く、申し込みが大幅に減少したと考える。	
今後の取り組みと方向性		継続	

重点的取り組み		むし歯・歯周病予防教室	
該当する事業		健康教室(短期集中型通所・訪問型サービスC)	
担当課	長寿福祉課	関係機関	各地区福祉会・在宅歯科医療連携室
実施状況	内容	基本チェックリスト該当し、参加意向がある者を対象に、生活機能改善のための運動と口腔機能向上の複合プログラムを実施	
	取組み	通所型は口腔機能向上プログラムを3回(全18回)、訪問型は週1回、自宅に訪問し、3か月間集中的に実施している。	
	成果と課題	口腔ケアが必要な場合、在宅歯科医療連携室へつないでいる。	
今後の取り組みと方向性		継続	

重点的取り組み		後期高齢者歯科健診の実施	
該当する事業		長寿歯科健診	
担当課	保険年金課	関係機関	燕歯科医師会
実施状況	内容	76歳・80歳を対象に、協力歯科医療機関で個別歯科健診の実施(歯・口腔衛生・咬合状態の確認、歯周疾患の有無、嚥下機能チェック)	
	取組み	対象者に受診票を個別通知し、受診勧奨している。	
	成果と課題	令和2年度は179名(12月末現在)が受診したが、新型コロナウイルス感染症の影響により受診率はやや減少(R1:10.9%→R2:10.4%)している。口腔機能の低下により介入が必要と思われる方を抽出し健康教室につなげるなど、長寿福祉課や地域包括支援センターと連携して対応する必要がある。	
今後の取り組みと方向性		継続	

令和2年度 燕市歯科保健計画 重点的取り組み(事業)の実施状況・評価票

【活躍ざかり(65歳以上)】

重点的取り組み		口腔ケアの重要性を情報提供	
該当する事業		人生100年時代の健康サポート事業	
担当課	健康づくり課	関係機関	在宅歯科医療連携室
実施状況	内容	国保データベースを活用し、市の健康課題に対する事業について訪問指導を実施しフレイル予防対策を行なう。低栄養・口腔保健対策として笑顔の宅配プロジェクト、「通いの場」でのオーラルフレイル対策の啓発を行なう。	
	取組み	【笑顔の宅配プロジェクト】小池地区の75歳以上を対象として実施した。歯科衛生士と地区ボランティアが高齢者宅に訪問し、お口の体操の紹介等をしながら口腔機能の維持・向上を図った。事前訪問を行い、指導の対象となった6名に、1名につき3回の訪問を実施し、お口の体操・口腔ケア・介護予防事業への参加を促した。 【「通いの場」でのオーラルフレイル対策】サロン等の参加者に対し、歯科衛生士による歯科保健指導を実施。お口の体操や媒体を活用したブラッシング指導、歯科定期受診の大切さ等の啓発を行なった。	
	成果と課題	【笑顔の宅配プロジェクト】3か月間の関わり・家庭での継続した取り組みにより、噛む力の向上や活舌の改善などの効果が表れている。今後も歯科医師会と連携し、次年度も1圏域において1地区での実施を考えている。 【「通いの場」でのオーラルフレイル対策】実技を交えながらの指導がわかりやすく、参加者に好評であった。	
今後の取り組みと方向性	継続		

燕市歯科保健計画 世代別行動目標および指標・目標値

介護を要する人・障がい者(児)	口腔ケアの実施と治療を受けやすい環境をつくり、食生活に満足できる																
行動目標	○介護に関わる人が適切な口腔ケア等を必要な人に実施できるよう、技術を習得する ○治療を受けたい人が受けられる体制を整える																
数値目標の達成状況	◎目標値を達成、○概ね達成(80%以上)、△未達成だが基準値より改善、▼基準値未満 ※基準値は計画策定時【平成26年度】 目標値は【令和4(平成34)年度】																
①かかりつけ歯科医を持つ人の割合	②訪問歯科健診事業を知っている人の割合																
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: x-small;"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>R元年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>未調査</td> <td>64.3%</td> <td>増加</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table> (3年毎に調査を実施、次回調査は令和4年度予定)	基準値	R元年度	目標値	達成度	未調査	64.3%	増加	◎	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: x-small;"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>R元年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>未調査</td> <td>41.9%</td> <td>増加</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table> (3年毎に調査を実施、次回調査は令和4年度予定)	基準値	R元年度	目標値	達成度	未調査	41.9%	増加	◎
基準値	R元年度	目標値	達成度														
未調査	64.3%	増加	◎														
基準値	R元年度	目標値	達成度														
未調査	41.9%	増加	◎														
③燕・弥彦在宅歯科医療連携室における訪問歯科健診および歯科衛生士訪問数	④燕・弥彦在宅歯科医療連携室における専門職に対する口腔ケア実施研修利用件数																
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: x-small;"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>R2年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>35件</td> <td>1件</td> <td>80件</td> <td>▼</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	R2年度	目標値	達成度	35件	1件	80件	▼	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: x-small;"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>R2年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6件</td> <td>1件</td> <td>10件以上</td> <td>▼</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	R2年度	目標値	達成度	6件	1件	10件以上	▼
基準値	R2年度	目標値	達成度														
35件	1件	80件	▼														
基準値	R2年度	目標値	達成度														
6件	1件	10件以上	▼														
<課題と今後の方向性> かかりつけ医を持つ人、訪問歯科健診事業を知っている人の割合は前回調査時より増加しています。引き続き、関係機関と連携を取りながら事業の周知・利用を勧め、取り組みを推進していきます。																	

令和2年度 燕市歯科保健計画 重点的取り組み(事業)の実施状況・評価票

【介護を要する人・障がい者(児)】

重点的取り組み		訪問歯科健診事業の周知強化	
該当する事業		①無料訪問歯科健診事業 (実施主体：新潟県)	
		②歯っぴー相談	
担当課	長寿福祉課	関係機関	在宅歯科医療連携室・三条保健所
実施状況	内容	在宅要介護者等を対象に、口腔機能の向上と要介護状態の悪化予防を目的とした無料訪問歯科健診(無料)の実施	
	取組み	①平成31年度の県実施の対象者変更に伴い、在宅要介護3以上の方を対象に、介護保険証発送時に在宅歯科医療連携室の無料歯科相談を案内周知している。 保健所実績：令和元年度2件、令和2年度1件	
		②令和元年度の県主催「歯っぴー健診」の事業終了を受け、令和2年1月から歯っぴー相談をと変更した。要介護2以下から初めて要介護3になった方を対象に、介護保険証発送時に在宅歯科医療連携室の無料歯科相談を案内周知すると同時に、担当ケアマネージャーにもPRをし、利用を勧めている。	
成果と課題	①県事業変更に伴い、訪問歯科健診の実績は例年より減少した。今後は、同等のサービスを提供していくために、在宅歯科医療連携室の無料歯科相談を紹介していく。 ②新規要介護3認定者は減少傾向ではあるが、①と同様に在宅歯科医療連携室の協力を得ながら、実施していく。		
今後の取り組みと方向性	継続		

令和2年度 燕市歯科保健計画 重点的取り組み(事業)の実施状況・評価票

【介護を要する人・障がい者(児)】

重点的取り組み		福祉の手続きの際に歯科相談窓口の周知強化	
該当する事業		①在宅重度障がい児(者)の歯科保健推進事業	
		②歯科相談窓口の周知	
担当課	(社会福祉課)	関係機関	在宅歯科医療連携室・三条保健所
実施状況	内容	①在宅重度障がい児(者)が身近な地域で歯科的支援を受けられる体制整備	
		②障害者手帳・療育手帳交付時等、在宅重度障がい児者の歯科相談や訪問歯科診療・口腔ケア窓口等の周知	
	取組み	①平成30年12月1日 事業開始 ○令和2年度の取組 ・関係する燕・弥彦地域障がい福祉サービス事業所へのアンケート調査 ・令和2年11月20日 関係機関による意見交換会	
		②市内の相談支援専門員が集まる機会を捉えて制度を周知するとともに、事業所のできる範囲での口腔内観察について協力依頼。県から配布されたPRチラシを市役所窓口に設置。障害者手帳・療育手帳交付時等に配布する「障がい者福祉のしおり」に訪問歯科診療・口腔ケアの利用について掲載。	
成果と課題	①・アンケート調査からは、この事業を知っている事業所は50%であり、更なる事業のPRが必要である結果となった。 ・意見交換会では、専門医療機関との連携により適正な対応がとられた事例を共有し、事業の効果が確認された。		
	②県のPRチラシの窓口設置や「障がい者福祉のしおり」への掲載に加え、対象者(児)との関わりが多い相談支援専門員からの働きかけにより、歯科相談等の利用に繋がっている。 新型コロナウイルスの影響で、4月開催予定であった「市内相談支援機関連絡会」が中止となり、相談支援専門員への周知ができなかったが、今後も引き続き機会を捉えて周知を行なっていく必要がある。 また、訪問歯科健診・治療が必要な障がい児者を診察に繋げるため、燕歯科医師会、三条保健所が開催する「在宅重度障がい児(者)の歯科保健の推進に関する意見交換会」において、引き続き相談事例などを障害福祉サービス事業者や相談支援専門員と情報共有する必要がある。		
今後の取り組みと方向性		継続	

燕市歯科保健計画 世代別行動目標および指標・目標値

生涯を通じて	歯や口腔の健康を保ち、「食べる楽しみ」「すてきな笑顔」「楽しい会話」でいきいきと過ごす
行動目標	<ul style="list-style-type: none"> ○歯磨き習慣やよく噛む習慣を定着させる ○定期的に歯科健診を受ける ○健診・教室などの事業を通して、歯の健康意識を高める

令和2年度 燕市歯科保健計画 重点的取り組み(事業)の実施状況・評価票

【生涯を通じて】

重点的取り組み		つばめ元気ががやきポイント事業の啓発とともに歯の健康づくりに取り組む	
該当する事業		①つばめ元気ががやきポイント事業 ②歯っぴーフェア	
担当課	健康づくり課	むし歯・歯周病予防教室	燕歯科医師会・元気ががやきポイント事業協賛企業 保健推進委員・食生活改善推進委員・元気磨きたい
実施状況	内容	①元気ががやきポイント手帳において、歯に関する項目の設定 1Pメニュー「毎食後の歯磨き」「一口30回以上よくかんで食べる」 5Pメニュー「歯科健診・唾液潜血反応検査」「歯っぴーフェア」 ②歯のイベント「歯っぴーフェア」を燕歯科医師会主催のもと共同開催。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンラインで実施。	
	取組み	②歯っぴーフェアは11月24日～30日の7日間、オンライン特別講演会と歯科図画ポスターのウェブ展示を実施。講演会では新型コロナウイルス感染症とお口の健康を関連付け、より多くの方が興味をもつことのできるテーマで行なった。	
	成果と課題	①元気ががやきポイント手帳を継続的に取り組むことで、歯の健康行動の定着を図ることにつながっている。 ②開催期間中の燕歯科医師会ホームページへのアクセス数は526回、講演会動画再生回数は200回であった。	
今後の取り組みと方向性	継続	保健推進委員・食生活改善推進委員・元気磨きたいが元気ががやきポイント事業に継続して取組み、その成果の発信を強化していく。	